

# 令和元年度仙台市図書館事業報告書

～仙台市図書館振興計画(第二次)に基づく事業の実施状況～

令和2年9月

教育局市民図書館

# 目 次

総括 / 仙台市図書館協議会の意見 ..... 1

## 方向性 1 地域や市民に役立つ図書館となるために

(1) 文化的で豊かな生活を営む基盤としての図書館サービスに取り組みます ..... 2  
【教養や楽しみとしてのニーズに応え、生涯を通じた学びを支えるサービスの提供】  
【資料を介在とした地域社会の中での落ち着いた居場所としての機能と新たな活力を生み出す場づくり】

(2) 課題解決に取り組む市民を応援します ..... 3  
【様々な課題解決に役立つ資料や情報の積極的な収集・保存・提供】  
【レファレンス機能の充実】  
【課題解決型情報支援サービスの充実】  
【地域の専門機関との連携】

(3) 情報化社会の進展に合った情報提供の充実に図ります ..... 5  
【電子情報の整備・充実、デジタル環境への対応】  
【紙媒体と電子媒体の両方に対応したハイブリッドレファレンスサービスの提供】  
【様々なネットワークへの参加連携】

(4) 地域の創造性の継承・発展に取り組みます ..... 5  
【地域情報の蓄積・継承・発信】  
【市民と共に進める仙台に関する情報の発掘や発信】  
【震災関連資料の継続的収集と活用】

(5) 「学都仙台」を活かして大学図書館等との地域連携を進めます ..... 6  
【市内大学との連携 / 市内専門研究機関等とのネットワークづくり】

**方向性** 2 0歳から読書に親しめる読書文化を育む図書館となるために

- (1)乳幼児から小学生まですべての子どもが本と出会う機会を提供します…………… 7  
【妊娠期の親や乳幼児とその親に対する読書支援の強化】  
【読書のきっかけづくりや継続していくための小学生向けの読書支援の取り組み】
- (2)障害のある子どもの状況にあったサービスを提供します …………… 8  
【障害のある子どもが利用しやすい資料の収集、読書環境の整備】  
【関係機関との連携を強化し、ニーズに応じた取り組み】  
【障害のある子どもが来館しやすい環境整備】
- (3)ヤングアダルト世代の読書支援の充実を図ります…………… 8  
【各図書館のヤングアダルトコーナーの充実】  
【中高生向け広報の強化】  
【中高生による図書館サポーターの育成】
- (4)学校との連携を強化し子どもの読書活動を積極的に推進します…………… 9  
【子どもの学年に応じた利用しやすい形での資料の提供】  
【学校との連携を強化し、協働による事業の拡充】
- (5)家庭、地域などと連携し子どもの創造性を育む読書環境を支える輪を広げます… 10  
【子供図書室を核とした地域における子ども読書活動の支援】  
【市内の保育園・保育所、幼稚園、児童館・児童センター等地域施設の支援】  
【地域のボランティア育成と活動支援】  
【家読<sup>うちどく</sup>をすすめる取組】

### 方向性 3 市民一人ひとりに利用しやすい図書館となるために

- (1) どこに住んでいても情報が身近に届くサービスの充実をめざします…………… 12  
【市民センター等を活用した図書館サービス窓口の適正配置】  
【分室、移動図書館サービスの再編等】
- (2) 誰もが使いやすい図書館サービスをめざします…………… 12  
【高齢者サービスの充実】  
【障害のある人へのサービスの充実】  
【外国人が使いやすいサービスの充実】

### 方向性 4 自らの変革を進める図書館となるために

- (1) 仙台市民の財産として資料の収集・保存を計画的に行います…………… 14  
【計画的な資料の収集・保存・活用／分担収集の推進と収蔵スペースの確保】
- (2) 図書館像を共有して市民と共に図書館づくりを進めます…………… 14  
【図書館サービスの広報、図書館像の共有】  
【文字・活字文化振興のための市民活動の支援、市民協働による図書館づくり】
- (3) 図書館資源を適正に配分し、有効に活用します…………… 15  
【システムやサービスのあり方の見直し】  
【資料管理の効果的なあり方の検討】  
【指定管理館のあり方の検討】
- (4) 図書館サービスの評価を行いながら図書館経営を行います…………… 15  
【継続した事業評価の実施／市民による評価や意見の活用】
- (5) 図書館職員の資質の向上に努めます…………… 16  
【出版文化の状況や利用者の動向を踏まえて選書を行える職員の養成／専門性と経営能力を備えた職員の養成】  
【多様な利用者ニーズに対応したサービス提供のための職員のスキルアップ】
- 方向性ごとの課題・改善策…………… 17

## ◆ 総 括 ◆

令和元年度は、利用者ニーズに応じて開館時間の繰り上げを行ったほか、幅広い資料収集の継続、博物館との連携講座や夜のイベントの実施など利用者層の拡大を図った。併せて、Twitter を開設し、イベント情報の発信や「3.11 震災文庫を読む」の紹介など、SNS を活用した広報に取り組むことができた。

また、中高生を対象とした『『いじめ・命』に向き合う本』のリストの更新や、YA 世代を対象とした活動の場を提供するなど、若い世代への読書支援の取り組みを進めた。

令和2年度は、アンケート調査の実施等により利用者ニーズを把握し、引き続き、新型コロナウイルス感染症に伴う新しい生活様式や社会の変化に柔軟に対応しつつ、より満足度の高い図書館サービスの提供を図っていく。

## ◆ 仙台市図書館協議会の意見 ◆

### 方向性 1 地域や市民に役立つ図書館

- ・ 地域の中での居場所としての機能をもつ図書館だが、感染症の影響により長時間の滞在を制限している。適切なサービスを提供するため、利用者・図書館双方が安心して利用できる環境づくりが必要とされる。
- ・ 本そのものが落ち着いた「居場所」であるとの観点から、本を大事にし、出会いの場、交流の場として、発信していく取り組みを進めてほしい。

### 方向性 2 0 歳から読書に親しめる読書文化を育む図書館

- ・ 児童生徒に一人 1 台 I C タブレット端末の配布が予定されており、これを契機と捉えて、早めに対策を考えていくと良い。
- ・ 学校のホームページに図書館のバナーを貼りつけるなどして、学校図書館との連携を図り、子どもたちや教師が図書館と情報のやりとりを行えると良い。
- ・ 読み聞かせについては、読む人がそこにいるという温かさにその良さであるのではないかな。

### 方向性 3 市民一人ひとりに利用しやすい図書館

- ・ ボランティア論や支え合いの事例等の資料展示など、これからの新しい高齢期像を提供する事業を検討すると良い。
- ・ 感染症対策として、移動図書館の拡充や図書の宅配、電子書籍などの非接触型サービスの拡充や、オンラインでのサービスの提供の検討が必要だと思う。また、そこで、蔵書やレファレンスをどのようにして活かすかが知恵の絞りどころである。
- ・ デジタル環境を持たない人、デジタルに弱い人も考慮し、来館型サービスを維持しつつ、電子化との両面でのサービスの提供を模索していく必要がある。

### 方向性 4 自らの変革を進める図書館

- ・ 情報が溢れる中、どのようにして図書館の情報を効果的に伝えていくかが従来から課題として挙げられていたが、ツイッターで画像とともに情報発信されており、図書館の情報が伝わっているものを感じる。
- ・ 市内在住の外国人が 1 万数千人いることを踏まえ、外国人向けのサービスに、より丁寧に取り組むと良いと思う。

施策 (1) 文化的で豊かな生活を営む基盤としての図書館サービスに取り組みます

令和元年度実施状況

【教養や楽しみとしてのニーズに応え、生涯を通じた学びを支えるサービスの提供】

○開館時間を9時30分に繰り上げ、利用者サービスの向上を図った。**(重)**

○様々な本や情報と出会うきっかけとなる資料(一般書、児童書、視聴覚資料)の案内等を発行した。

一般向け図書案内	「本の翼」(市民) 「広瀬図書館新刊案内」(広瀬) 「新着セレクト」(宮城野) 「つつじがおか」(榴岡) 「あなたのおすすめ本を教えてください」(榴岡) 「Choice of Books」(太白) 「シニアライフの充実は“図書館”から」(泉) 「本のいずみ」(泉)
児童図書案内	「家読におすすめの本」 「BOOK TREE」 「あかちゃんと楽しむはじめての絵本」 他 各館でテーマ別図書案内等 12 種類を発行
中高生向け図書案内	「いじめ・命に向き合う本」 「YAnews」(広瀬) 「福読抄 10 代向けブックリスト 2020」(広瀬) 「Library 横丁(あーけーど)」(榴岡) 「YA 通信 すばろーずペーパー」(泉)
新着 AV 資料案内	「AV 新着案内」(広瀬) 「Come, Come」(宮城野) 「まんまるシアター」(若林) 「アンシャンテ」(太白) 「キー・ステーション」(泉)
広報紙等	「郷土のかぜ」(市民) 「広瀬図書館だより」(広瀬) 「榴岡図書館だより」(榴岡) 「若林図書館だより 本びより」(若林) 「上映会通信」(若林) 「てとてといずみ」(泉) 「子供図書室通信」(泉)
その他	行政支援のための新着図書案内の発行(市民・宮城野) 「福袋の本リスト(一般向け・児童向け)」(宮城野) 「大活字本所蔵リスト」(泉) <b>新規</b>

○文字・活字文化に親しみ、読書活動を推進するための展示を実施した。

\* 毎月のテーマ展示を行うほか、随時話題の資料の展示コーナーを設け、資料選びの参考となるよう配慮した。(全館)

\* 「追悼コーナー」「芥川賞・直木賞受賞コーナー」等を報道後迅速に設置した。(全館)

\* 春と秋の子ども読書フェスティバル期間中に関連のテーマ別展示を行った。(全館)

\* 仙台文学館特別展「開館 20 周年記念」、「斎藤茂吉 そのひとすじの道」に合わせた資料展示を行った。(市民)

\* 職員がテーマを設定して紹介する資料展示「広瀬図書館スタッフのMY本棚」を実施した。(広瀬)

\* 「隠れたオススメ本フェア★あなたのポップを大募集！」と題して、外国の絵本を中心に貸出回数少ない本を展示するとともに、それらの紹介ポップ(ひとことメッセージ)を募集、本と併せて展示した。(宮城野) **新規**

\* 「あなたのおすすめ本を教えてください」のアンケート結果をもとに、本の展示を行い、冊子を発行した。(榴岡)

\* CSR(企業の社会貢献)関連資料コーナーを設置し、市内企業や団体等についての情報を提供した。(若林)

\* 省エネルギーや再生可能エネルギー関連の資料コーナーを常設し、利用者への啓発を行った。(太白)

\* 「ベストセラーで振り返る平成の30年」の展示を行うとともに、リストを作成・配布し、情報提供を行った。(泉)

【資料を介在とした地域社会の中での落ち着いた居場所としての機能と新たな活力を生み出す場づくり】

○「落ち着いた居場所」や「交流の場」としての図書館をめざし、市民が「本」や「人」と出会い、豊かな学びの機会を得られるためのイベントや、現役世代も参加しやすい閉館後の催し等を開催した。

\* 仙台フィルハーモニー管弦楽団主催演奏会「名曲のちから オーケストラ・スタンダード」展のトークイベントを開催し、関連する図書やCDを併せて展示した。(広瀬、宮城野、太白、泉)

\* 様々な分野の本に興味を持つきっかけ作りとして「本の福袋」を実施した。(広瀬、宮城野、榴岡、若林、泉)

- \* 閉館後の図書館を会場に、図書館利用を促すためのイベントLibrary After Hours「ライブラリーで珈琲を」(講座)、「くるみ割り人形」(音楽と朗読会)を開催した。(市民)
- \* せんだいメディアテークと連携して夏休み期間の6日間「とぷらすウィーク」を開催し、統一テーマ「ひんやり、あります」による資料展示及び上映会のほか、ブックトークや手ではなすおはなしの会、計10回のバックヤードツアーを実施した。(市民)
- \* 広瀬文化センター、広瀬市民センターとの共催で、本にまつわる音楽を題材としたコンサートイベント「音楽で奏でる本の世界」を開催した。(広瀬)
- \* 「広瀬図書館まつり」で、「新春！びっくりおはなし会」(大人向けの回を設定)や、手製本の手法でオリジナル手帳を製作する「手製本講座」を開催した。(広瀬)
- \* 学生の試験期間等で混雑しやすい土日(不定期)に、視聴覚室を学習室として開放した。(宮城野) **新規**
- \* 図書館員の手づくり講座「フラワーアレンジメントパート3」「手作りで迎えるお正月・紙で作る小さな門松」を開催した。(若林)
- \* 夜活講座「心と体に優しいあぶら」を開催した。(泉)
- \* 朗読会として、「村上春樹を読んだことがない人のための朗読会」、「村上春樹を音楽と朗読で聴く会」、「古社寺巡り名文読み比べ」を行った。(泉) **新規**

施策 (2) 課題解決に取り組む市民を応援します

令和元年度実施状況

**【様々な課題解決に役立つ資料や情報の積極的な収集・保存・提供】**

○全国的な図書館利用動向や本市における傾向などを踏まえた、高齢者や障害者なども含めたすべての利用者にとって、様々な課題解決に役立つ資料を幅広く収集した。

	平成30年度	令和元年度
資料受入数(冊・点)	74,259	71,632
蔵書数(冊・点)	2,095,999	2,092,634
個人利用者数(人)	1,524,989	1,532,976
個人貸出数(冊・点)	4,434,917	4,619,785

※図書館で実施した講座等の資料も、受入可能なものは閲覧できるよう整備に努めた。

**【レファレンス機能の充実】**

○社会教育施設や関係機関を通して専門分野に関するレファレンス資料及び情報の収集を行うほか、国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」を全館で提供するなど、レファレンス機能の充実に努めた。

▷令和元年度 レファレンス件数 48,641件(平成30年度 55,416件)

\* 国立国会図書館の「図書館向けデジタル化資料送信サービス」の提供を継続して行った。(全館)

▷令和元年度 利用件数 158件(平成30年度 利用件数 139件)

\* 国立国会図書館のレファレンス協同データベースにレファレンス事例の登録を継続して行った。(全館)

\* レファレンス事例集「本の道案内 Vol.6」を作成した。(全館)

\* パスファインダーの更新と配置を継続して行い、レファレンスサービスの周知を図った。(全館)

▷全26タイトル(令和元年度 1タイトル新規作成)

### 【課題解決型情報支援サービスの充実】

- 図書館ホームページやメール配信サービスを通じて、図書館からのお知らせやイベントなどの情報発信を行った。
  - \* ホームページ(イベント情報・新着資料・テーマ別リスト等)を随時更新し、情報提供に努めた。(全館)
  - \* Twitterを開設し、イベントや実施報告等の情報発信を行った。(全館) **新規**
  - \* ホームページ「YA 中高生のページ」において、中高生の課題解決に役立つ情報を発信した。(市民)
  - \* 仙台市メール配信サービスにて、毎月定例行事・イベント・お知らせ等の情報発信を行った。(市民)

### 【地域の専門機関との連携】

- 地域の専門機関と連携し、市民向け講座・講演会や情報展示コーナーの設置など、地域に関する情報の発信等に努めた。
  - \* 博物館との連携講座「いつだって猫に夢中！」「絵地図と星のステキな関係」を開催した。(市民)
  - \* 天文台と連携し、「子ども天文教室」を開催した。(広瀬)
  - \* 宮城総合支所と連携して、「ご存知ですか？認知症フレンドリーのこと」や「こころの声に耳をすませて～頑張りすぎていませんか？」(自殺対策強化月間の取組)など、地域課題の解決を支援する資料展示を行った。(広瀬) **新規**
  - \* 市民センター祭りに参加し、読み聞かせやDVD上映会を行った。(宮城野)
  - \* 宮城県視覚障害者情報センターと連携して、視覚障害者・弱視者の支援に関し、視覚を制約された状態での歩行・支援体験を交えた講座を開催した。(宮城野)
  - \* 東口ガイドボランティア「宮城野さんぼみち」と協働して「まちあるき歴史散歩 東口に点在する文学碑などを巡る」を開催した。(榴岡)
  - \* 歴史民俗資料館との連携事業として講座「堤焼と堤人形のおはなし」を開催した。(榴岡) **拡充**
  - \* せんだい農業園芸センターと連携し「伝統野菜応援事業 仙台北菜物語 定植会」において関連資料の紹介を行った。(若林)
  - \* 長町地域包括支援センターと連携して、市民講座「寝たきりにならないために～ロコモティブシンドロームって？～」を開催し、関連資料の展示・紹介及び蔵書リストの配布を行った。(太白)
  - \* 長町商店街連合会が企画した「長町まちかど教室」に参加し、図書館の仕事を体験する「あなたも図書館スタッフ」を開催した。(太白)
  - \* 日本政策金融公庫との共催の創業支援セミナー「金融機関が教えるビジネスプランの作り方」を開催し、関連するパネル展示のほか、関連資料の展示・紹介及び蔵書リストの配布を行った。(泉)
  - \* 法テラス宮城との連携講座「知っておきたい相続・遺言・成年後見」を開催し、関連資料の展示・紹介及び蔵書リストの配布を行った。(泉)
  - \* 泉中央地域包括支援センターと連携して、市民講座「知って安心認知症カフェ～認知症カフェってどんなところ？～」を開催し、関連資料の展示・紹介及び蔵書リストの配布を行った。(泉) **新規**



施策 (3) 情報化社会の進展に合った情報提供の充実を図ります

令和元年度実施状況

【電子情報の整備・充実、デジタル環境への対応】

- 商用データベースサービスを継続し、利用者に最新の情報を提供した。(全館)
  - ▷令和元年度利用者向け商用データベース 8種類、利用件数 880件(平成30年度8種類、882件)
- 市民図書館の郷土資料コーナーに電子資料閲覧用機器を設置し、デジタル化した和書・漢籍・古地図の閲覧サービスを継続して提供した。また、ホームページのデジタルライブラリーに古文書(地図・和書)を追加掲載した。
  - ▷令和元年度利用件数 15件(平成30年度 16件)
  - \*地域のモバイルショップと連携し、図書館ホームページでの資料検索演習等を内容とする「タブレット体験教室」を実施した。(広瀬)
  - \*「情報リテラシー支援講座」を開催し、タブレット型PC体験を通して情報端末による課題解決を体験する機会を提供した。(若林)

【紙媒体と電子媒体の両方に対応したハイブリッドレファレンスサービスの提供】

- ホームページにレファレンス事例集「本の道案内」Vol.1～Vol.6及びパスファインダー26種類を継続して掲載し、図書館活用方法の周知に努めた。
  - \*郷土に関するレファレンス集「要説宮城の郷土誌」、「要説宮城の郷土誌(続)」をホームページに掲載した。(市民)
  - \*広瀬図書館で利用可能なデータベースの基本的な操作や便利機能を紹介する利用者向けガイダンスを実施した。(広瀬)
  - \*図書館活用講座として、「上手な本の探し方～初心者向け～」を開催し、インターネットや館内OPACで本を探すときのコツや便利な検索方法、国立国会図書館等資料検索に役立つサイトの紹介などを行った。(泉) **新規**
  - \*「大人のための泉図書館バックヤードツアー」を実施した際、仙台市図書館Webサイトのサービス内容やオンラインデータベースの紹介を行った。(泉) **新規**

【様々なネットワークへの参加連携】

- 国立国会図書館のレファレンス協同データベースへの事例登録を継続して行った。

施策 (4) 地域の創造性の継承・発展に取り組みます

令和元年度実施状況

【地域情報の蓄積・継承・発信】

- 図書、逐次刊行物、行政資料のほか映像資料も含め多様な地域資料の収集に努めた。
  - ▷令和元年度郷土資料受入数 2,169冊(平成30年度2,584冊)
  - \*仙台市制施行130年・政令指定都市・区制移行30周年の関連資料を展示した。(市民、宮城野、泉)
  - \*郷土史研究者による郷土史講座「市電からみた昭和の仙台」を開催した。(市民)
  - \*せんだいメディアテークと共催でスクエア図書館「仙台と出会う」を開催し、郷土資料の展示及び仙台での新生活に役立つパンフレットの設置を行った。(市民)
  - \*地域にまつわる記憶や思い出を収集、保存、共有する「思い出アーカイブ」を継続して実施した。(広瀬)
  - \*野球関連の図書や雑誌に加え、各種グッズや試合結果を展示し、「東北楽天イーグルス応援コーナー」を引き続き設置し、充実を図った。(宮城野)
  - \*地元ゆかりの島崎藤村に関する「藤村コーナー」にて関連資料の展示や紹介を行った。(榴岡)

- \* 大人向けの「映画上映会」にて「大崎八幡宮の流鏑馬」「『仙台の門』いろいろ」「天賞酒造の建造物」の映像を上映した。(榴岡)
- \* 仙台に縁のある小説家・真山青果の業績を顕彰する講座「再考!! 真山青果を知る」を開催した。(若林)
- \* 「仙台 89ERS 展示コーナー」を引き続き設置し、試合スケジュール等を展示した。(太白)
- \* 「ベガルタ仙台展示コーナー」を引き続き設置し、サッカー関連資料や試合結果を展示するとともに、試合による交通規制情報も案内した。(泉)
- \* 仙台に関する本のテーマ展示「ようこそ！仙台へ」を実施し、仙台ゆかりの作家のリスト掲示も併せて行った。(泉)

### 【市民と共に進める仙台に関する情報の発掘や発信】

- 市民の協力を得て仙台に関する情報の収集と資料の提供に継続して努めた。
  - ▷ 令和元年度寄贈による郷土資料受け入れ数 1,281 冊(平成 30 年度 1,625 冊)
- \* 地域資料の紹介や郷土史に関心の高い市民からの寄稿を掲載した情報紙「郷土のかぜ」を継続して発行した。(市民)
- \* NPO 法人 20 世紀アーカイブ仙台所蔵資料を借り受け、仙台七夕に関する展示を開催した。(若林)

### 【震災関連資料の継続的収集と活用】(重)

- 東日本大震災関連資料や情報の継続的収集、3.11 震災文庫及び各館震災コーナーの充実と活用を図った。
  - ▷ 令和元年度末現在 3.11 震災文庫資料収集数 12,990 点(平成 30 年度末 12,287 点)
- 仙台市政だより全市ページに「3.11 震災文庫を読む」の連載を継続した。
  - \* 令和元年 11 月以降、毎月 11 日前後には、Twitter で「3.11 震災文庫を読む」を紹介している。(市民) **新規**
  - \* 国立国会図書館東日本大震災アーカイブ(愛称ひなぎく)に、「3.11 震災文庫」に受け入れた図書等の書誌情報を追加更新した。(市民)
  - \* 震災関連事業として展示「『新浜で繋がる、自然・ひと・歴史』展」、ギャラリートーク「新浜の歴史を掘り起こす」を開催した。(若林)
  - \* 東日本大震災をテーマとした「3.11 を忘れない」の特集展示を行い、市政だよりの特集「3.11 震災文庫を語る」を併せて掲示した。(泉)

施策

(5) 「学都仙台」を活かして大学図書館等との地域連携を進めます

令和元年度実施状況

### 【市内大学との連携／市内専門研究機関等とのネットワークづくり】

- 宮城教育大学附属図書館との資料の相互貸借を継続して実施し、館内掲示により周知を図った。
- 学都仙台オンライン目録(OPAC)(仙台の大学・短大が参加する横断検索)に継続して参加し、ホームページ上でも周知を図った。
- 利用者からの問い合わせに応じて大学図書館の所蔵状況確認を行った。
- 市内の大学等との連携による取り組みの実施に努めた。
  - \* 図書館実習の学生を受け入れ、図書館学を学ぶ学生の養成に協力した。(市民、宮城野、太白、泉)
  - \* 国立仙台高等専門学校広瀬キャンパスと連携し、「夏休みプログラミング工作会」や「英語多読教室」を開催した。また、「高専祭」に参加して広瀬キャンパス図書館との共催による「古本市」の開催により、相互の利用促進に繋がった。(広瀬)
  - \* 尚綱学院大学(学生読み聞かせワークショップ)(広瀬、榴岡)、宮城学院女子大学(職場体験)・仙台青葉学院短期大学(保育内容(言葉)の講師として職員派遣、ゼミ生の展示体験)・聖和学園短期大学(施設見学)(榴岡)との連携を行った。

施策	(1) 乳幼児から小学生まですべての子どもが本と出会う機会を提供します
令和元年度実施状況	
<p><b>【妊娠期の親や乳幼児とその親に対する読書支援の強化】</b></p> <p>○各種おはなし会を拡充しながら継続して実施し、読み聞かせの楽しさや大切さを伝えた。</p> <p><b>【乳幼児向けおはなし会】</b></p> <p>▷令和元年度実施回数 166回、参加者数 2,915人(平成30年度 186回、3,333人)</p> <p><b>【幼児向けおはなし会】(幼児～小学校低学年対象)</b></p> <p>▷令和元年度実施回数 478回、参加者数 7,908人(平成30年度 532回、8,213人)</p> <p><b>【「赤ちゃんを楽しむ絵本とわらべうたの会」など、乳幼児及び保護者向けの行事】</b></p> <p>▷令和元年度実施回数 20回、参加者数 341人(平成30年度 19回、380人)</p> <p>○乳幼児の保護者向けブックリスト「あかちゃんと楽しむはじめての絵本」を継続配布し、改訂版(第5版)を作成した。</p> <p>▷配布先:各区家庭健康課・総務課、各のびすく、市立保育所、近隣の認可外保育施設や婦人科クリニック等</p> <p>○仙台市子ども読書活動推進会議に参加し、関連部署との意見交換や情報交換等を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*おはなし会ノートやスタンプカードを全館で配布し、継続参加を促し、絵本等を通じた赤ちゃんと保護者のふれ合いの場を提供した。(全館)</li> <li>*児童館やのびすくで出張おはなし会を実施した。(市民、宮城野、若林、泉)</li> <li>*毎月第4水曜日に「あかちゃんタイム」を継続して行い、親子連れが気兼ねなく来館できるようにした。(市民)</li> <li>*特定非営利活動法人 MISO との連携による「えいご de おはなし会」を開催した。(広瀬)</li> <li>*乳幼児と保護者を対象に、「親子で楽しむわらべうた」や、「はじめよう! ベビーサイン」を継続して実施した。(広瀬)</li> <li>*宮城野区中央市民センターが主催する「ウェルカムひろば」に参加して、宮城野区へ転入した乳幼児の親子への絵本の読み聞かせと図書館の紹介を行った。(宮城野)</li> <li>*地域の手づくり市での出前おはなし会「ヤギさんおはなしかい」を毎月開催した。(若林)</li> <li>*「ぬいぐるみおとまり会」を開催し、子どもたちに図書館を身近に感じてもらえる機会を提供した。(若林)</li> <li>*第44回中田まつりに参加し、絵本と紙芝居のコーナーの出展、おはなし会を実施した。(太白)</li> <li>*妊娠期の親を対象とした「マタニティおはなし会」を定期的で開催し、読み聞かせやわらべうた、本の紹介等を行った。(泉)</li> <li>*子育て支援通信「てとてといずみ」を継続して作成し、各図書館と各のびすくで配布した。(泉)</li> </ul> <p><b>【読書のきっかけづくりや継続していくための小学生向けの読書支援の取り組み】</b></p> <p>○小学校1年生向け図書館利用案内を作成し、学校を通して市内全児童に配布した。図書館に利用案内を持参した児童には「ようこそシール」を貼り、来館を促した。</p> <p>▷小学校1年生向け図書館利用案内「としょかんへいこう!」 令和元年度配布校数・配布枚数 133校・9,135枚 (平成30年度 132校・8,805枚)</p> <p>▷「ようこそシール」 令和元年度配布枚数 471枚(平成30年度 540枚)</p> <p>○小学生向けにおはなし会や工作教室、1日図書館員等、子ども達に参加できる催しを実施したほか、職場見学・体験学習等の積極的な受け入れなど、様々な読書支援サービスを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*子ども映画上映会を開催した。(全館)</li> <li>*夏休みに読書スタンプラリーや「夜のこわ～いおはなし会」、「夏休みプログラミング工作会」(再掲)を開催した。(広瀬)</li> <li>*図書館に関するクイズを通して理解を深める「としょかんたんていだん」を開催した。(榴岡)</li> <li>*夏休み期間に「宿題お助け隊」を開催し、図書館資料のアピールと利用促進を図った。(若林)</li> </ul>	

施策 (2) 障害のある子どもの状況にあったサービスを提供します

令和元年度実施状況

【障害のある子どもが利用しやすい資料の収集、読書環境の整備】

- 子供図書室のユニバーサルコーナーをはじめ各館で、触る絵本や点字付き絵本、LLブック等、障害のある子どもたちの読書活動の推進に向けた資料の収集に努めた。
- 触る絵本等の関連資料所蔵リストの各図書館での配布とホームページ等での公開を、継続して行った。
- 子供図書室にマルチメディアデージー(DAISY)利用のための機器を継続して設置するとともに、利用促進に向けて小学校及び中学校全体説明会、特別支援教育コーディネーター連絡協議会等で周知・広報を行った。

【関係機関との連携を強化し、ニーズに応じた取り組み】

- 特別支援学級からの要望が多かった資料を中心に貸出資料の充実を図った。
- 特別支援学校・学級専用資料について作成したチラシを、市内特別支援学校と市立小・中学校の特別支援学級へ配布するとともに、ブックトーク等で小・中学校を訪問する際にも配布し、広報に努めた。
  - ▷令和元年度利用校数 19校(小学校17校、中学校2校)延べ45校(平成30年度13校延べ35校)
  - ▷令和元年度利用点数 1,520点(平成30年度1,156点)
- 利用校に対するアンケートを実施し、ニーズに合った資料の充実を図った。
  - ▷令和元年度アンケートの送付校数 19校(平成30年度12校)

【障害のある子どもが来館しやすい環境整備】

- \* せんだいメディアテークとの連携事業で、手話を使った「手ではなすおはなしの会」を実施した。(市民)
- \* 施設見学で来館した特別支援学校の子ども達に向けておはなし会を実施した。(泉)

施策 (3) ヤングアダルト世代の読書支援の充実を図ります

令和元年度実施状況

【各図書館のヤングアダルトコーナーの充実】(重)

- 中高生のおすすめの本の投稿ボックスを全館に設置し、館内にヤングアダルト展示コーナーを設け、中高生向けの本の紹介や展示を行った。
- 中高生向けの本の紹介やビブリオバトル、ボランティア体験等の読書支援サービスを行った。ビブリオバトルは、初心者でも気軽に体験できるよう工夫した。
- 職場見学・体験学習等の積極的な受け入れを継続して実施し、図書館や読書への興味・関心をより深める機会を提供した。
  - \* 児童文学者講演会「鈴木のりたけ氏講演会」において、会場設営や受付などで中高生ボランティアの協力を得た。(7名参加)(市民、広瀬、榴岡、泉)
  - \* YAコーナーの選書支援アンケートを実施し、中高生やその親の読書ニーズを把握するとともに、その結果を選書アドバイザー会議における選書支援の参考とした。(広瀬)
  - \* 中高生を対象に読書会を開催した。(広瀬) **新規**
  - \* 中高生を対象にビブリオバトルを開催した。大学生ボランティアの協力を得る場合もあった。(若林、泉)
  - \* YA向け映画上映会で「蠅の王」を上映した。(太白)
  - \* 小学生向け行事にYA図書委員会が参加し、運営補助を行った。(泉) **新規**

**【中高生向け広報の強化】(重)**

- 図書館ホームページの「ヤングアダルト中高生のページ」において、ヤングアダルト向けイベント情報や司書及び中高生によるおすすめの本の紹介を掲載するなど、情報発信を継続的に行った。
- 子供図書室で、中高生向けの図書資料や行事を紹介する「YA通信」を発行し、全市立中学校及び高等学校等に配布するなど情報発信に努めた。
- 「いじめ・命に向き合う本」のリストを更新した。全 137 冊(いじめ 84 冊、命 53 冊)。
- 中学校1年生向け図書館利用案内を作成し、市内学校を通して生徒に配布した。
  - ▷中学校1年生向け図書館利用案内「図書館にいこうよ！」 令和元年度配布校数・枚数 82 校・10,542 枚  
(平成 30 年度 80 校・10,056 枚)
- 高等学校1年生向け図書館利用案内を作成し、市内全高等学校に配布した。
  - ▷高等学校1年生向け図書館利用案内「いざ！図書館」 令和元年度配布校数・枚数 49 校・12,200 枚  
(平成 30 年度 49 校・12,500 枚)
- \* 中高生向けテーマ別図書案内「YAnews」を年 3 回発行し、近隣中学校へ配布を行った。また、夏には「YAおススメ本リスト」も発行した。(広瀬)
- \* 選書アドバイザーを中高生から募り、中高生向けブックリスト「福読抄」(冊子版・リーフレット版)を作成した。ブックリストは青葉区内中学校及び近隣の高等学校に配布し、同世代の中高生に読書の楽しみをアピールした。(広瀬)
- \* 選書サポーターを中高生から募り、冊子「Library 横丁(あーけーど)」を作成し、市内中学校、高校に配布した。(榴岡)
- \* 中高生ボランティア(泉図書館YA図書委員会)による選書や「おススメブックリスト 2019」の作成、本の展示を行った。(泉)

**【中高生による図書館サポーターの育成】**

- 「みんなのおススメの本を教えて！」投稿ボックスを各館に設置し、ホームページでも投稿された本の情報を紹介した。
  - ▷令和元年度掲示件数 137 件(平成 30 年度 166 件)(再掲)
- 子供図書室で実施した「泉図書館YA図書委員会」では、図書館業務の体験や、同年代に紹介したい「おススメブックリスト」の作成とともに、本の展示を行うなど様々な企画を通して図書館への理解・関心をより深める機会を提供した。
- 選書アドバイザーや選書サポーターが作成したブックリストを市内の中学校や高校に配布し、中高生の読書支援を行った。(再掲)
  - \* 中高生のボランティア(選書サポーター、選書アドバイザー)によるブックリストの作成を通して、同年代へのおすすめ本の紹介などの情報発信を継続的に行い、読書のきっかけづくりを促進した。(広瀬、榴岡)(再掲)

施策 (4) 学校との連携を強化し子どもの読書活動を積極的に推進します

令和元年度実施状況

**【子どもの学年に応じた利用しやすい形での資料の提供】**

- 小中学校向けにパッケージ貸出と学校貸出(授業用図書貸出・ブックトーク貸出)を、資料の充実を図りながら継続して実施した。
  - ▷令和元年度パッケージ貸出利用校 89 校(平成 30 年度 98 校) 延べ貸出回数 143 回(平成 30 年度 187 回)
  - ▷令和元年度学校貸出校 延べ 344 校(平成 30 年度 延べ 339 校) 貸出冊数 16,412 冊(平成 30 年度 14,505 冊)
- 教科書変更に伴う新たな学校貸出依頼に対応できるよう資料の補充を行った。
- 防災パック、お仕事パック、夢・職業パックの資料の見直しと改編を行った。
- 高等学校向け学校貸出サービスに配送サービスを導入し、利便性の向上を図った。**(拡)**
  - ▷令和元年度貸出利用校 9 校 延べ貸出回数 10 回(175 冊) ※配送サービス利用校 7 校 延べ回数 14 回

**【学校との連携を強化し、協働による事業の拡充】**

- 公共図書館利用学習への支援を継続して実施した。
  - ▷令和元年度図書館見学、調べ学習 受入校 延べ94校(平成30年度 延べ84校)
- 小中学生の職場見学・体験学習等の積極的な受け入れを継続して実施した。
  - ▷令和元年度受入校 42校(平成30年度 46校)
- 図書館発行物(子どもの本の案内等)により学校への情報提供を行った。
- 市立小学校に除籍済資料を無償譲渡し、資料の有効活用を図った。
  - ▷令和元年度譲渡先 14校 譲渡冊数 1,469冊(平成30年度 14校 1,460冊)
- 図書館職員による小中学校へのブックトークを継続して実施し、学校を訪問した際に学校図書事務員との情報交換を行った。
  - ▷令和元年度利用校延べ138校(平成30年度 延べ140校)
- ブックトークボランティアによる小中学校へのブックトークを継続して実施した。
  - ▷令和元年度利用校 44校(平成30年度 37校)
- ブックトークボランティアの養成講座、ステップアップ講座を実施し、受講者のブックトークの技量や関心を高め、ブックトーク事業の充実につなげた。
- 学校図書館担当者等向けの研修へ図書館職員を派遣した。
- 市内小中学校・特別支援学校全校を対象に学校連携事業に関するアンケートを実施し、図書館事業に対する要望の把握に努めた。
  - \* 不登校児童の適応指導教室の職場体験を受け入れた。(市民、若林、太白、泉)
  - \* 高校生と高等専門学校の図書館見学や実習を受け入れた。(市民、広瀬、若林)
  - \* 大学生と短大生の図書館実習を受け入れた。(市民、宮城野、榴岡、太白、泉)

施策 (5) 家庭、地域などと連携し子どもの創造性を育む読書環境を支える輪を広げます

令和元年度実施状況

**【子供図書室を核とした地域における子ども読書活動の支援】**

- 図書館全館において、春・秋の子ども読書フェスティバルを開催し、特別おはなし会やおすすめの本の展示等により子どもが本に親しむための機会をつくり、家庭・地域への情報提供等を行った。また、本を借りるためのしかけとして「花いっぱいになあ〜れ」(春)や「ラッキーブックをさがそう！」(秋)などを全館共通で実施した。
  - ▷令和元年度「花いっぱいになあ〜れ」参加人数 12,779人(平成30年度 11,530人)
  - ▷令和元年度「ラッキーブックをさがそう！」参加人数 14,552人(平成30年度 12,924人)
- 児童文学者講演会を開催し、子ども読書活動を推進した。(再掲)
  - ▷令和元年度児童文学者講演会「鈴木のりたけ氏講演会」参加人数 175人
  - (平成30年度児童文学者講演会「柳田理科雄氏講演会」参加人数 203人)
- 子育てふれあいプラザのびすくと連携したおはなし会の実施や子育て支援通信等の情報紙配布、行事ポスターの掲示等を継続して行った。
  - ▷令和元年度のびすくでのおはなし会実施回数 19回 612人(平成30年度 22回 659人)
- 地域の保育所や幼稚園が、園外保育で来館する際に、希望に応じて臨時おはなし会を実施した。
- 小学校低学年以下向けと小学校中学年以上向けの2種類の自書式読書通帳を継続して作成・配布した。
  - また、通帳1冊終えるごとに認定シールを貼付し、子どもが継続して読書に親しめるよう工夫した。
  - ▷令和元年度読書通帳配布数 13,271枚(平成30年度 12,858枚) 認定シール配布数 1,329枚(平成30年度 1,667枚)
- 子ども読書支援パックの小道具パック(5点セット)の複本を増やした。
- 子供図書室開館10周年記念事業として、クリアファイルの作成、講演会等を実施した。

### 【市内の保育園・保育所、幼稚園、児童館・児童センター等地域施設の支援】

○児童館等の職員やボランティアを対象とした、読み聞かせやストーリーテリングなど、子どもの読書に関する研修・講座を実施した。

▷令和元年度実施件数 9件 参加者数 253人(平成30年度 8件 211人)

○「子ども読書支援パック」を継続して貸し出した。

▷令和元年度未現在パック数 62種類 173パック(平成30年度末 70種類 166パック)

▷令和元年度貸出件数(保育所・幼稚園・児童館) 193件(平成30年度 214件)

○児童館等職員やボランティアに対して、児童館等主催の子どもの読書に関する講座等へ図書館職員の派遣を行った。窓口やおはなし会後の読書相談に応じるなど、リストを配布し情報提供を行った。

▷令和元年度派遣件数 1件(平成30年度 3件)

\* 保育園の就学児体験学習を受け入れ、図書館の利用方法の説明や大型絵本の読み聞かせを行った。(広瀬) **新規**

\* 宮城総合支所の「絵本棚」に図書館の絵本 20冊を設置し、毎月差し替えを行った。(広瀬)

\* 榴岡児童館と子育て支援クラブガーネット共催のママ・ココ・フェスティバルや地域のイベントに参加するなど、手遊びや大型絵本の読み聞かせを行った。(榴岡) **拡充**

\* 若林区文化センターと連携し、親子対象のバックヤードツアーを実施した。(若林)

○保育所に対して除籍済資料の無償譲渡を行い、資料の有効活用に努めた。

▷令和元年度提供数 13件 709冊(平成30年度 15件 731冊)

### 【地域のボランティア育成と活動支援】

○「子ども読書支援パック」を継続して貸し出した。

▷令和元年度貸出件数(ボランティア等) 171件(平成30年度 107件)

○読み聞かせボランティア基礎講座終了後に、図書館での読み聞かせの体験を実施した。

○ボランティアの協力を得ながら、年齢・対象別のおはなし会やブックトーク等を積極的に実施した。

▷令和元年度読書活動推進ボランティアの延べ人数 936人(平成30年度 943人)

○ボランティア団体の活動情報を募集し、集まった情報を館内に掲示紹介し、相互の情報共有を図った。

▷令和元年度活動情報チラシ枚数 20枚(平成30年度 18枚)

○図書館を利用する機会の少ない子どもにも、本に親しむ機会を提供できるように、家庭文庫・地域文庫の資料の充実を図るため、文庫への貸出を継続して行った。

▷令和元年度文庫登録数 21団体(平成30年度 20団体)

▷令和元年度貸出冊数 2,950冊(平成30年度 3,766冊)

○文庫活動を支援するため、文庫の会の勉強会でブックトークの手法や本の情報提供を行い、新刊案内等の広報紙を配布した。また、文庫との懇談会等を実施した。

○文庫やボランティアと連携して講演会や講座等の事業を行った。

▷令和元年度実施件数 5件 ボランティア延べ人数 116人(平成30年度 4件 85人)

○図書館で活動しているボランティア団体との連絡会等を実施し、情報交換等を行った。(市民、広瀬、若林、泉)

### 【家読をすすめる取組】

○家読のコーナーを設置し「うちどくにおすすめの本」のリストを配布するとともに、掲載の本を展示した。

(市民、広瀬、榴岡、泉) **拡**

\* 「おうちで読書」を楽しめる情報をTwitterで提供した。

施策	(1) どこに住んでいても情報が身近に届くサービスの充実をめざします
令和元年度実施状況	
<p><b>【市民センター等を活用した図書館サービス窓口の適正配置】(重)</b></p> <p>○予約した本の受け取りや返却ができる新しい窓口として平成30年11月に開設した「中田サービススポット」の運営を継続し、効果検証を行った。</p> <p>▷令和元年度開設日数 139日 利用者数(延べ)3,007人(平成30年度54日 1,146人)</p> <p>*第44回中田まつりに参加し、PRブースの出展やおはなし会を実施した。(市民、太白)(再掲)</p> <p>*利用者の意識を把握するため、中田サービススポット利用者アンケートを実施した。(太白)</p> <p>○市民センターからの要請を受けて、図書ボランティア養成講座等に講師を派遣し、地域での読書活動の活性化に努めた。</p> <p>*荒町市民センター(市民、榴岡)、鶴ヶ谷市民センター(市民)、南中山市民センター(泉)、福沢市民センター(泉)</p> <p><b>【分室、移動図書館サービスの再編等】</b></p> <p>○移動図書館利用者の意識を把握し、今後のサービスに生かすため、利用者アンケートを実施した。また、利用状況等を考慮して、巡回場所を一部見直した。</p> <p>▷市内76ヶ所</p>	

施策	(2) 誰もが使いやすい図書館サービスをめざします
令和元年度実施状況	
<p><b>【高齢者サービスの充実】</b></p> <p>○高齢者をはじめとする通常の本の文字が読みづらい方向けに大活字本の収集を行うとともに、集中選書会議で調整のうえ新刊を中心とした大活字本も購入し、全館で資料の充実を図った。</p> <p>▷令和元年度末大活字本受入数 294冊(平成30年度末273冊)</p> <p>▷令和元年度末大活字本蔵書数 8,748冊(平成30年度末8,064冊)</p> <p>*高齢者にも関心が高い分野(皇室・認知症等)をテーマとした資料展示やシニア向けの資料展示(広瀬、宮城野、太白、泉)、「充実のセカンドライフコーナー」(市民)、「生き生き家庭生活応援コーナー・シニア向けおすすめ本」(若林)、「医療・介護情報コーナー」(太白)、「ユニバーサルコーナー」(泉)を継続的に設置し、随時新刊本を追加してコーナーの充実を図り、高齢者に向けた資料提供に努めた。</p> <p>*絵本を楽しむシニア男子会による読み聞かせ「大人が楽しむおはなし会」を開催した。(市民、泉)</p> <p>*自館所蔵の大活字本リストを作成し、ユニバーサルコーナーに配置した。また、配布用リストを作成し、情報の提供を行った。(泉)</p>	



### 【障害のある人へのサービスの充実】

- 心身の障害等により来館が困難な利用者に対し、図書館資料の郵送貸出を行った。
  - ▷令和元年度郵送貸出延利用者数延べ 4,521 人(平成 30 年度延べ 4,189 人)
  - ▷令和元年度郵送貸出数 10,362 冊・点(平成 30 年度 9,712 冊・点)
- 視覚障害のある人へ、朗読ボランティアによる対面朗読サービスを実施した。
  - ▷令和元年度対面朗読件数 175 回(平成 30 年度 165 回) (せんだいメディアテーク分を除く)
- 全館に拡大読書器、筆談ボード等を設置するなど、障害者へ配慮した。
  - \*ボランティア団体「拡大写本の会」による拡大写本制作の支援を引き続き行い、仕上がった拡大写本を利用に供した(拡大写本 1タイトル 2 分冊完成)。(宮城野)
  - \*手話のできる職員が「手話」バッジを着用するようにした。(宮城野)
  - \*対面朗読ボランティアスキルアップ講座を開催した。(太白)
- 宮城野図書館がサピエ図書館に施設登録し、利用者へのデージー(DAISY)資料の貸出を継続して行うとともに、館内へのポスター掲示により広報した。
  - \*視覚障害者へのデージー資料(録音図書)を作成した(担当:宮城野)。
    - ▷令和元年度 デージー資料 351 点 累計 1,547 点(平成 30 年度 デージー資料 360 点 累計 1,195 点)
- 障害者サービスに配慮した行事を開催したほか、図書館ホームページ上でも障害者サービスの広報に努めた。
  - \*障害のある方の就労実習の受け入れを行った。(市民、宮城野)
  - \*宮城県視覚障害者情報センターと連携して、視覚障害者・弱視者の支援に関し、視覚を制約された状態での歩行・支援体験を交えた講座を開催した。(宮城野)(再掲)
  - \*自分では読書が困難な方への読書支援として朗読会を開催した。(泉)(再掲)

### 【外国人が使いやすいサービスの充実】

- 選定会議、調整会議等で調整のうえ、外国語資料(一般洋書)の充実を図った。
  - ▷令和元年度外国語資料受入数 60 冊(平成 30 年度 115 冊)
  - ▷令和元年度末外国語資料蔵書数 4,942 冊(平成 30 年度末 4,698 冊)
- 外国人向け利用案内(英語・中国語・韓国語)を継続して配布するとともに、ホームページでの情報提供を行った。
- 日本語多読ブックスなど日本語を学ぶ外国人に役立つ資料約 130 冊を集めた「Welcome to SENDAI(仙台在住外国人支援資料コーナー)」を設置した。(市民)

施策 (1) 仙台市民の財産として資料の収集・保存を計画的に行います

令和元年度実施状況

【計画的な資料の収集・保存・活用／分担収集の推進と収蔵スペースの確保】

○仙台市図書館資料収集方針に基づき、集中選書会議の中で、専門書や高額資料の購入について検討し、各館の分担収集分野に応じた配置を行った。

市民	郷土資料、東日本大震災関連資料、哲学・歴史・社会科学・ビジネス支援・建築・美術・言語関係資料
宮城野	文学関係資料
若林	農業・園芸関係資料
太白	健康・医療関係資料
泉	児童書研究資料、自然科学・技術工学・ビジネス支援・福祉関係資料

○書庫内の資料の計画的な除籍により資料収蔵スペースを確保し、魅力的な書架の提供に努めた。

○除籍資料を有効活用するための市内各団体向け譲渡会を継続して開催した。

▷令和元年度(児童書)小学校、保育所等 27ヶ所 2,178冊 (平成30年度(児童書)小学校、保育所等 29ヶ所 2,191冊)  
令和元年度(一般書)市民センター等 5ヶ所 1,332冊 (平成30年度(一般書)市民センター等 8ヶ所 771冊)

\*一般開架の棚板を137段増設し、より多くの資料を適切に配架できるようにした。(市民)

施策 (2) 図書館像を共有して市民と共に図書館づくりを進めます

令和元年度実施状況

【図書館サービスの広報、図書館像の共有】

○行事開催の案内等を市政だよりや「ぼど」等のフリーペーパーに掲載するほか、公共施設や商業施設にも配布・掲示し、幅広い層への周知を図った。

○多様な機関や市民団体との連携、行事・事業への参加、ラジオ放送等により、図書館サービスについての情報を発信した。

\*市主催のイベントや地域のおまつりに、PRブースを出展し、本の展示やミニおはなし会の開催を通じてイベントの賑わいづくりに協力するとともに、図書館の魅力をアピールした。(市民) **新規**

\*移動図書館をPRするため毎年勾当台公園で開催されている「仙台市PTAフェスティバル」に出展し、約800人の来館者に利用を促した。(移動図書館) **新規**

○図書館ホームページでのイベントのお知らせやメール配信により、周知を図った。

\*「仙台市職員のための新着図書案内」及び「仕事に役立つ！本をピックアップ」リストを市役所職員用掲示板で周知した。(市民・宮城野)

\*JRや地下鉄の駅に、図書館の新刊案内やイベントポスター等を掲示し、広報に努めた。(広瀬、宮城野、若林、太白)

○Twitterを開設し、図書館のイベント情報やホームページの更新情報などの発信を行った。 **新**(再掲)

【文字・活字文化振興のための市民活動の支援、市民協働による図書館づくり】

○ボランティアや市民の協力を得て、各館で多様な取り組みを行った。

○対面朗読ボランティアスキルアップ講座等、図書館で活動するボランティアを対象とした研修を実施した。

○読み聞かせボランティア養成講座を修了した参加者に、子どもと本をつなぐ活動をしているボランティアの活動情報を提供するとともに、活動の場を提供した。

○本の修理や書架整理等を行うボランティアを募集し、市民参加を促進した。

\*ボランティアによるおはなし会を実施した。(全館)

\*本の修理や返却された本を書架に戻す作業を、ボランティアの協力を得て行った。(市民、広瀬、宮城野、若林、太白、泉)

- \*「広瀬図書館まつり」で、ボランティア団体との協働による「新春！びっくりおはなし会」(再掲)を実施した。また、継続して実施している読書会事業の参加者が選書した資料を「読書会の本棚」として展示した。(広瀬)
- \* 市民センター等に「図書ボランティアスキルアップ研修」の講師を派遣した。(榴岡、泉)(再掲)
- \* 読み聞かせボランティア養成講座を開催し、ボランティアの育成とその活動の場を提供した。(若林)
- \* 市民団体の上映活動支援のため、図書館資料案内、講演、作品解説を行った。(若林)

施策 (3) 図書館資源を適正に配分し、有効に活用します

令和元年度実施状況

【システムやサービスのあり方の見直し】

- 雑誌スポンサー制度を継続して実施した。(広瀬、宮城野、榴岡、若林、太白、泉)  
 ▷令和元年度ステッカー 400 枚、参加企業 4 社(平成 30 年度 400 枚、4 社)

- 資料配送サービスについて、実態に合った配送時間に調整した。

【資料管理の効果的なあり方の検討】

- 平成 30 年度に盗難防止装置を設置した市民図書館と太白図書館において、不明資料が大幅に減少した。

【指定管理館のあり方の検討】

- 指定管理者制度導入館に対して指導・監査を実施するとともに、管理運営に係るモニタリング・評価を実施し、ホームページ上で公表した。

施策 (4) 図書館サービスの評価を行いながら図書館経営を行います

令和元年度実施状況

【継続した事業評価の実施／市民による評価や意見の活用】

- 仙台市図書館振興計画に基づき実施した事業について点検・自己評価を行い、第三者による評価として仙台市図書館協議会から意見を受けて報告書としてまとめ、市民に公表した。

- 市民の意見や要望を把握し、より良いサービスが提供できる図書館経営を行うため、利用者向けアンケート調査や利用者懇談会を実施し、その結果をホームページで市民に公表した。

- 全館に意見箱を常設し、利用者の意見を聞く機会を設けるとともに、意見と回答の掲示を行った。

- 指定管理者制度導入館に対して管理運営に係るモニタリング・評価を実施し、ホームページ上で公表した。(再掲)

- 寄せられた意見、要望に応じて可能な改善を行った。

\* 開館時間を 9 時 30 分に繰り上げ、利用者サービスの向上を図った。(全館)(再掲)

\* ホームページ「問い合わせの多い資料」に雑誌の項目を追加し、タイトル別に所蔵館が一覧で見られる 50 音別雑誌リストを掲載した。(全館)

\* 傘や杖が滑り落ちにくくなる傘・杖置きを設置した。(市民、広瀬、太白)

\* 新聞や雑誌をめくりやすくなるための指に塗布する紙めくりクリームを配置した。(広瀬、宮城野)

\* 「こどものとも」や「かがくのとも」などの配架方法をタイトルが見やすいように改善した。(広瀬)

\* 学生の試験期間等で混雑しやすい土日(不定期)に、視聴覚室を学習室として開放した。(宮城野)(再掲)

\* 館内用手荷物かごを整備した。(榴岡)



## ◇◆◇方向性ごとの課題・改善策◆◆◇

### 方向性1「地域や市民に役立つ図書館」についての課題・改善策

#### 【震災関連資料等郷土資料の有効活用】

- ・「3.11 震災文庫」をはじめとした郷土資料の継続収集、地域講座の開催など、各館の分担収集分野に関連した事業を実施し、地域の特色を生かした取り組みを進めることで図書館の魅力を深める情報の発信を行う。

#### 【社会の状況に応じた情報提供の充実】

- ・持続可能な開発目標(SDGs)の17の目標を達成するための活動が世界的に広がっていることから、関連資料を展示するなどの情報発信に取り組む。
- ・新型コロナウイルス感染症にかかる緊急事態宣言等、不測の事態に備えた非来館型サービスの必要性が求められているなか、デジタル環境での対応が図れる電子図書館の導入について調査・検討を進める。

### 方向性2「0歳から読書に親しめる読書文化を育む図書館」についての課題・改善策

#### 【乳幼児と保護者向け読書支援の検討】

- ・乳幼児の保護者向けのブックリスト「あかちゃんと楽しむはじめての絵本」の健診等での配布を継続しつつ、0歳から読書に親しめる「きっかけづくり」を提供する子育て支援事業の研究を行う。

#### 【学校と連携した学習支援の拡充】

- ・児童・生徒が図書館の資料を積極的に活用できるよう「調べ学習の手引き」の作成や、ブックトーク、授業用図書貸出など学校貸出サービスを活用した学習支援の取り組みを進める。

#### 【ヤングアダルト世代への情報発信の強化】

- ・図書館ホームページにおいて中高生によるおすすめ本の紹介や、SNSを活用した読書支援の情報発信を継続して図りつつ、ヤングアダルト世代が積極的に参加できる環境づくりや企画に取り組む。

### 方向性3「市民一人ひとりに利用しやすい図書館」についての課題・改善策

#### 【サービス向上のための取り組み】

- ・どこに住んでいても情報が身近に届くサービスの実現に向けた課題を把握するため、アンケート調査等を実施し、利用者ニーズや満足度の高いサービスのあり方について検討していく。併せて読書バリアフリー法に基づいた障害者サービスのあり方について、次期仙台市図書館振興計画の策定に向けて検討していく。

#### 【新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための取り組み】

- ・新型コロナウイルス感染症に伴う社会情勢に応じた図書館サービスの提供や改善に継続して取り組む。

### 方向性4「自らの変革を進める図書館」についての課題・改善策

#### 【図書館サービスの広報】

- ・新たなニーズの掘り起こしのため図書館Twitterの活用や、イベント等の賑わいの場での図書館の魅力PRなど、あらゆる機会を活用した広報を引き続き行い、利用促進に繋げる。